

簿記原理（簿記入門） 基本問題



学校法人田村学園

横浜経理専門学校

簿記原理（簿記入門）基本問題

—目次—

基本問題	1	貸借対照表・損益計算書その1		1 p
基本問題	2	貸借対照表・損益計算書その2		2 p
基本問題	3	簿記の取引・簿記要素		3 p
基本問題	4	仕訳		4 p
基本問題	5	転記（T勘定）		5 p
基本問題	6	仕訳・転記		6 p
基本問題	7①	仕訳帳・総勘定元帳		7 p
基本問題	7②	転記 総勘定元帳（標準式）		8 p
基本問題	7③	転記 総勘定元帳（残高式）		9 p
基本問題	8	試算表その1		10 p
基本問題	9	試算表その2		11 p
基本問題	10-1	決算整理・振替仕訳		12 p
基本問題	10-2	元帳締切り		13 p
基本問題	10-3	繰越試算表・財務諸表		14 p
基本問題	11	精算表		15 p

解

答

3級 基本問題 1 (3分法)

【問題 1】

次の資料により中村商店の平成○年4月1日現在の貸借対照表を作りなさい。

現金 ￥50,000 当座預金 ￥80,000 売掛金 ￥78,000
 建物 970,000 土地 1,000,000 買掛金 58,000
 借入金 120,000 資本金 各自計算しなさい。

貸借対照表

(商店)

平成○年4月1日

(単位：円)

資 産	金 額	負 債 及 び 純 資 産	金 額
現 金	()	買 掛 金	()
()	()	()	()
売 掛 金	()	資 本 金	()
()	()		
土 地	()		
	()		()

【問題 2】

中村商店の4月中における収益と費用は次のとおりである。損益計算書を作成しなさい。

なお、当期仕入れた仕入勘定の商品¥240,000は、全て販売済である。

売 上 ￥474,000 受取手数料 ￥7,000 仕 入 ￥240,000
 給 料 80,000 広告宣伝費 20,000 旅費交通費 9,000
 消耗品費 10,000 雑 費 2,000 支払利息 3,000

損益計算書

(商店)

平成○年4月1日から平成○年4月30日まで

(単位：円)

費 用	金 額	収 益	金 額
売 上 原 価	240,000	売 上 高	474,000
()	()	受 取 手 数 料	()
広 告 宣 伝 費	()		
旅 費 交 通 費	()		
()	()		
雑 費	()		
支 払 利 息	()		
()	()		
	()		()

3 級 基本問題 2 (3 分法)

【問題 3】

益川商店の平成○年 12 月 31 日現在の資産・負債の残高と、同年の 1 年間の収益・費用の合計金額は次のとおりであった。損益計算書と期末の貸借対照表を作成しなさい。

なお、期首の資本金は各自計算しなさい。ただし、期中の資本の増減はなかった。

現 金	¥ 38,000	売 上	¥ 553,000	給 料	¥ 150,000
当 座 預 金	40,000	受 取 手 数 料	24,000	旅 費 交 通 費	23,000
売 掛 金	60,000	買 掛 金	40,000	通 信 費	7,000
繰 越 商 品	80,000	売 上 原 価	260,000	借 入 金	70,000
水 道 光 熱 費	5,000	貸 付 金	20,000	消 耗 品 費	4,000
土 地	800,000				

損益計算書

(商店) 平成○年 1 月 1 日から平成○年 12 月 31 日まで (単位: 円)

費 用	金 額	収 益	金 額
()	()	売 上 高	()
給 料	()	()	()
旅 費 交 通 費	()		
通 信 費	()		
水 道 光 熱 費	()		
消 耗 品 費	()		
()	()		
	()		()

貸借対照表

(商店) 平成○年 12 月 31 日 (単位: 円)

資 産	金 額	負 債 及 び 純 資 産	金 額
現 金	()	()	()
()	()	借 入 金	()
売 掛 金	()	資 本 金	()
商 品	()	()	()
()	()		
土 地	()		
	()		()

3 級 基本問題 3 (3 分法)

【問題 4】

次の文章のうち、簿記上の取引となるものには○、取引とならないものには×を番号の次の（ ）の中に記入しなさい。

- (1) () 商品¥700,000 を買い入れ、代金は掛けとした。
- (2) () 商売するため店舗を 1 か月¥200,000 の家賃で借り受けた。
- (3) () レジを閉めるため現金残高を調べてみたら¥4,000 の不足を発見した。
- (4) () 従業員を月給¥180,000 で雇い入れた。
- (5) () 火災のため商売用店舗¥800,000,000 が焼失した。

【問題 5】

次の取引を(例)の〈解〉に従って、資産・負債・資本の増減や収益・費用の発生がどのように結合しているか分解しなさい。(注) 3 分法とする。

(例) 現金¥500,000 を元入れして営業を開始した。

〈解〉[現金](資産)¥500,000 の「増 加」⇔ [資本金](資本)¥500,000 の「増 加」

(1) 商品陳列ケース¥250,000 を現金で買い入れた。

〈解〉[]() ¥250,000 の「 」⇔ []() ¥250,000 の「 」

(2) 商品¥200,000 を仕入れ、代金は現金で支払った。

〈解〉[]() ¥200,000 の「 」⇔ []() ¥200,000 の「 」

(3) 親友から利息後払いの約束で現金¥300,000 を営業資金として借り入れた。

〈解〉[]() ¥300,000 の「 」⇔ []() ¥300,000 の「 」

(4) 商品を¥280,000 で売上げ、代金は掛けとした。

〈解〉[]() ¥280,000 の「 」⇔ []() ¥280,000 の「 」

(5) 事務用のコピー用紙¥3,000 を買い入れ、代金は現金で支払った。

〈解〉[]() ¥3,000 の「 」⇔ []() ¥3,000 の「 」

(6) 従業員に給料¥190,000 を現金で支払った。

〈解〉[]() ¥190,000 の「 」⇔ []() ¥190,000 の「 」

(7) 火災保険料¥100,000 を現金で支払った。

〈解〉[]() ¥100,000 の「 」⇔ []() ¥100,000 の「 」

【問題 6】

次の（ ）の中に、借方または貸方のどちらに記入するか示しなさい。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| (1) 資本の増加は()方に記入する。 | (6) 資産の増加は()方に記入する。 |
| (2) 費用の発生は()方に記入する。 | (7) 資本の減少は()方に記入する。 |
| (3) 資産の減少は()方に記入する。 | (8) 負債の増加は()方に記入する。 |
| (4) 負債の減少は()方に記入する。 | (9) 収益の取消し()方に記入する。 |
| (5) 収益の発生は()方に記入する。 | (10) 費用の取消し()方に記入する。 |

3 級 基本問題 4 (3 分法)

【問題 7】

次の取引の仕訳をしなさい。

- (1) 現金¥900,000 を元入れして営業を開始した。
- (2) 銀行から現金¥500,000 を借り入れた。(利息は考えなくてよい)
- (3) 商品¥300,000 を仕入れ、代金は現金で支払った。
- (4) 営業用のトラック 1 台(中古)を¥350,000 で買い入れ、代金は現金で支払った。
- (5) 事務用のボールペン・帳簿など¥3,000 を購入し、現金で支払った。
- (6) 商品¥190,000 を販売し、代金は現金で受け取った。
- (7) 商品¥200,000 を仕入れ、代金のうち¥50,000 を現金で支払い、残額は掛とした。
- (8) 商品を¥320,000 で販売し、代金のうち¥200,000 を現金で受取り、残額は掛とした。
- (9) 従業員の給料¥200,000 を現金で支払った。
- (10) 売掛け代金¥120,000 を現金で受取った。
- (11) 買掛け代金¥150,000 を現金で支払った。
- (12) 電話代¥20,000 を現金で支払った。

No.	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				
(5)				
(6)				
(7)				
(8)				
(9)				
(10)				
(11)				
(12)				

3 級 基本問題 5 (3 分法)

【問題 8】

【問題 7】の仕訳を下記の総勘定元帳の略式元帳(T 字型)へ転記しなさい。

なお、転記は日付の代わりに取引の番号を、また相手科目と金額を記入すること。

総勘定元帳 (一部)

現 金 1	売 掛 金 2
	車両運搬具 3
買 掛 金 4	借 入 金 5
資 本 金 6	売 上 7
仕 入 8	給 料 9
通 信 費 10	消 耗 品 費 11

3 級 基本問題 6 (3 分法)

【問題 9】

次の取引の仕訳をして、略式元帳(T字形)へ、転記しなさい。日付、相手勘定科目および金額を記入すること。

5/ 1 現金¥900,000 を元入れして営業を開始した。

4 商品¥300,000 を買い入れ、代金のうち¥100,000 は現金で支払い残額は掛とした。

16 営業用のパソコン¥360,000 を買い入れ代金は現金で支払った。

19 現金¥200,000 を貸付け、借用証書を受取った。

25 商品¥330,000 を A 商店へ売渡し、代金のうち¥180,000 は現金で受取り残額は掛とした。

30 本日、従業員の給料¥60,000 と交通費¥5,000 を現金で支払った。

日期	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
5/ 1				
4				
16				
19				
25				
30				

現 金		1	売 掛 金		2
備 品		4	貸 付 金		3
資 本 金		6	買 掛 金		5
仕 入		8	売 上		7
旅費交通費		10	給 料		9

3 級 基本問題 7① (3 分法)

【問題 10】

次の取引を下記の仕訳帳に仕訳して、総勘定元帳(別紙)へ転記下さい。

- 5/ 1 現金¥900,000 を元入れして営業を開始した。
- 4 大津商店から、商品¥300,000 を買い入れ、代金のうち¥100,000 は現金で支払い残額は掛とした。
- 16 営業用のパソコン¥360,000 を買い入れ代金は現金で支払った。
- 19 現金¥200,000 を甲商店に貸付け、借用証書を受取った。
- 25 商品¥330,000 を中村商店へ売渡し、代金のうち¥180,000 は現金で受取り残額は掛とした。
- 30 本日、従業員の給料¥60,000 と交通費¥5,000 を現金で支払った。

[illegible]

(3 分法)

【問題 10A】

総勘定元帳 (標準式)

[illegible]

賣掛金								2

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

仕 入 8

[illegible][illegible]

(3 分法)

【問題 10B】

総勘定元帳 (残高式)

現金

1

[illegible]

壳 掛 金

2

[illegible]

貸 付 金

3

--	--	--	--	--	--	--	--

備 品

4

--	--	--	--	--	--	--	--

買 掛 金

5

[illegible]

資 本 金

6

--	--	--	--	--	--	--	--

壳 上

7

--	--	--	--	--	--	--	--

仕 入

8

--	--	--	--	--	--	--	--

給 料

9

--	--	--	--	--	--	--	--

旅費交通費

10

--	--	--	--	--	--	--	--

3 級 基本問題 8 (3 分法)

【問題 11】

井田商店の期末(平成○年 12 月 31 日)の総勘定元帳(略式)の記録から、合計残高試算表を作成しなさい。

総勘定元帳

現 金 1		売 掛 金 2		備 品 3	
3,500,000	350,000	2,300,000	900,000	350,000	
1,000,000	1,500,000	800,000			
900,000	230,000				
	200,000				
	62,000	買 掛 金 4		借 入 金 5	
	8,000	1,500,000	1,600,000	200,000	1,000,000
資 本 金 6		売 上 7		仕 入 8	
	3,500,000		2,300,000	1,600,000	
			800,000		
給 料 9		支 払 地 代 10		支 払 利 息 11	
230,000		62,000		8,000	

合計残高試算表

平成○年 12 月 31 日

借 方		元 丁	勘 定 科 目	貸 方	
残 高	合 計			合 計	残 高
		1	現 金		
		2	売 掛 金		
		3	備 品		
		4	買 掛 金		
		5	借 入 金		
		6	資 本 金		
		7	売 上		
		8	仕 入		
		9	給 料		
		10	支 払 地 代		
		11	支 払 利 息		

3 級 基本問題 9 (3 分法)

【問題 12】

大津商店の期末(平成〇年 12 月 31 日)の下記勘定残高から残高試算表を作成しなさい。なお、資本金の残高は各自計算して記入しなさい。また、勘定科目がブランクになっているところは、資産、負債、純資産、収益、費用の順に記入するようにして下さい。

現 金	¥1,900,000	売 上	¥3,220,000	買 掛 金	¥1,420,000
給 料	800,000	売 掛 金	3,000,000	借 入 金	1,300,000
支 払 家 賃	120,000	広 告 宣 伝 費	175,000	貸 付 金	820,000
雑 費	5,000	仕 入	2,700,000	備 品	450,000
受 取 手 数 料	60,000	支 払 利 息	30,000	資 本 金	?

残高試算表

平成〇年 12 月 31 日

借 方	勘 定 科 目	貸 方
	現 金	
	()	
	貸 付 金	
	()	
	買 掛 金	
	()	
	資 本 金	
	()	
	受 取 手 数 料	
	()	
	給 料	
	()	
	支 払 家 賃	
	()	
	支 払 利 息	

3 級 基本問題 10-1 (3 分法)

【問題 13A】

丸山商店(個人)の勘定口座(略式)に基づき、各設問に答えなさい。ただし、会計期間は 1 年、決算日は平成○年 12 月 31 日とする。

- (1) 商品の修正仕訳をしなさい。なお、期末商品棚卸高は¥550,000 である。
- (2) 決算(振替)仕訳を示し転記しなさい。
- (3) 元帳の各勘定口座を英米式で締切りなさい。(開始記入は省略すること)
- (4) 繰越試算表を作成しなさい。
- (5) 損益計算書と貸借対照表を作成しなさい。

現 金 1		当 座 預 金 2		売 掛 金 3	
4,700,000	3,100,000	1,500,000	400,000	8,500,000	5,770,000
繰 越 商 品 4		備 品 5		買 掛 金 6	
400,000		7,000,000		5,000,000	6,900,000
借 入 金 7		資 本 金 8		売 上 9	
100,000	900,000		8,000,000		11,750,000
受 取 手 数 料 10		仕 入 11		給 料 12	
	390,000	9,000,000		950,000	
通 信 費 13		支 払 家 賃 14		支 払 利 息 15	
30,000		20,000		10,000	

- (1) 決算修正仕訳(決算予備手続)……ここでは「商品の修正仕訳」のみ

- (2) 決算振替仕訳(決算本手続)

- ① 収益
勘定

- ② 費用
勘定

- ③ 損益勘定の残高(当期の純損益)を資本金勘定へ振り替える。

--	--

3 級 基本問題 10-2 (3 分法)

【問題 13B】

現 金 1		当 座 預 金 2	
4,700,000	3,100,000	1,500,000	400,000
売 掛 金 3		繰 越 商 品 4	
8,500,000	5,770,000	1/1 前期繰越 400,000	
備 品 5		買 掛 金 6	
7,000,000		5,000,000	6,900,000
借 入 金 7		資 本 金 8	
100,000	900,000		1/1 前期繰越 8,000,000
売 上 9		受 取 手 数 料 10	
	11,750,000		390,000
仕 入 11		給 料 12	
9,000,000		950,000	
通 信 費 13		損 益 16	
30,000			
支 払 家 賃 14			
20,000			
支 払 利 息 15			
10,000			

3 級 基本問題 10-3 (3 分法)

【問題 13C】

(3) 繰越試算表の作成

繰越試算表

平成○年 12 月 31 日

借	方	元丁	勘 定 科 目	貸	方

(4) 損益計算書の作成

損益計算書

(商店) 平成○年 1 月 1 日から平成○年 12 月 31 日まで (単位: 円)

費	用	金	額	収	益	金	額

(5) 貸借対照表の作成

貸借対照表

(商店) 平成○年 12 月 31 日 (単位: 円)

資	産	金	額	負 債 及 び 純 資 産	金	額

3 級 基本問題 11 (3 分法)

【問題 14】

下記の 8 桁精算表を作成しなさい。ただし、期末商品棚卸高は¥550,000 である。

精 算 表

勘定科目	試算表		修正仕訳		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	1,600,000							
当座預金	1,100,000							
売掛金	2,730,000							
繰越商品	400,000							
備品	7,000,000							
買掛金		1,900,000						
借入金		800,000						
資本金		8,000,000						
売上		11,750,000						
受取手数料		390,000						
仕入	9,000,000							
給料	950,000							
通信費	30,000							
支払家賃	20,000							
支払利息	10,000							
	22,840,000	22,840,000						
()								

3級 基本問題 1 (3分法)

【問題 1】

次の資料により中村商店の平成○年4月1日現在の貸借対照表を作りなさい。

現 金 ￥50,000 当 座 預 金 ￥ 80,000 売 掛 金 ￥78,000
 建 物 970,000 土 地 1,000,000 買 掛 金 58,000
 借 入 金 120,000 資 本 金 各自計算しなさい。

貸借対照表

(中村商店)

平成○年4月1日

(単位：円)

資 産	金 額	負 債 及 び 純 資 産	金 額
現 金	50,000	買 掛 金	58,000
当 座 預 金	80,000	借 入 金	120,000
売 掛 金	78,000	資 本 金	2,000,000
建 物	970,000		
土 地	1,000,000		
	2,178,000		2,178,000

【問題 2】

中村商店の4月中における収益と費用は次のとおりである。損益計算書を作成しなさい。

なお、当期仕入れた仕入勘定の商品¥240,000は、全て販売済である。

売 上 ￥474,000 受 取 手 数 料 ￥ 7,000 仕 入 ￥240,000
 給 料 80,000 広 告 宣 伝 費 20,000 旅 費 交 通 費 9,000
 消 耗 品 費 10,000 雑 費 2,000 支 払 利 息 3,000

損益計算書

(中村商店)

平成○年4月1日から平成○年4月30日まで

(単位：円)

費 用	金 額	収 益	金 額
売 上 原 価	240,000	売 上 高	474,000
給 料	80,000	受 取 手 数 料	7,000
広 告 宣 伝 費	20,000		
旅 費 交 通 費	9,000		
消 耗 品 費	10,000		
雑 費	2,000		
支 払 利 息	3,000		
当 期 純 利 益	117,000		
	481,000		481,000

3級 基本問題 2 (3分法)

【問題 3】

益川商店の平成○年 12 月 31 日現在の資産・負債の残高と、同年の 1 年間の収益・費用の合計金額は次のとおりであった。損益計算書と期末の貸借対照表を作成しなさい。

なお、期首の資本金は各自計算しなさい。ただし、期中の資本の増減はなかった。

現 金	¥ 38,000	売 上	¥ 553,000	給 料	¥ 150,000
当 座 預 金	40,000	受 取 手 数 料	24,000	旅 費 交 通 費	23,000
売 掛 金	60,000	買 掛 金	40,000	通 信 費	7,000
繰 越 商 品	80,000	売 上 原 価	260,000	借 入 金	70,000
水 道 光 熱 費	5,000	貸 付 金	20,000	消 耗 品 費	4,000
土 地	800,000				

損益計算書

(益川商店) 平成○年 1 月 1 日から平成○年 12 月 31 日まで (単位: 円)

費 用	金 額	収 益	金 額
売 上 原 価	260,000	売 上 高	553,000
給 料	150,000	受 取 手 数 料	24,000
旅 費 交 通 費	23,000		
通 信 費	7,000		
水 道 光 熱 費	5,000		
消 耗 品 費	4,000		
当 期 純 利 益	128,000		
	577,000		577,000

貸借対照表

(益川商店) 平成○年 12 月 31 日 (単位: 円)

資 産	金 額	負 債 及 び 純 資 産	金 額
現 金	38,000	買 掛 金	40,000
当 座 預 金	40,000	借 入 金	70,000
売 掛 金	60,000	資 本 金	800,000
商 品	80,000	当 期 純 利 益	128,000
貸 付 金	20,000		
土 地	800,000		
	1,038,000		1,038,000

3 級 基本問題 3 (3 分法)

【問題 4】

次の文章のうち、簿記上の取引となるものには○、取引とならないものには×を番号の次の（ ）の中に記入しなさい。

- (1) (○) 商品¥700,000 を買い入れ、代金は掛けとした。
- (2) (×) 商売するため店舗を 1 か月¥200,000 の家賃で借り受けた。
- (3) (○) レジを閉めるため現金残高を調べてみたら¥4,000 の不足を発見した。
- (4) (×) 従業員を月給¥180,000 で雇い入れた。
- (5) (○) 火災のため商売用店舗¥800,000,000 が焼失した。

【問題 5】

次の取引を(例)の〈解〉に従って、資産・負債・資本の増減や収益・費用の発生がどのように結合しているか分解しなさい。(注) 3 分法とする。

(例) 現金¥500,000 を元入れして営業を開始した。

〈解〉[現金](資産)¥500,000 の「増 加」⇔ [資本金](資本)¥500,000 の「増 加」

(1) 商品陳列ケース¥250,000 を現金で買い入れた。

〈解〉[備 品](資産)¥250,000 の「増 加」⇔ [現金](資産)¥250,000 の「減 少」

(2) 商品¥200,000 を仕入れ、代金は現金で支払った。

〈解〉[仕 入](費用)¥200,000 の「発 生」⇔ [現金](資産)¥200,000 の「減 少」

(3) 親友から利息後払いの約束で現金¥300,000 を営業資金として借り入れた。

〈解〉[現金](資産)¥300,000 の「増 加」⇔ [借入金](負債)¥300,000 の「増 加」

(4) 商品を¥280,000 で売上げ、代金は掛けとした。

〈解〉[売 掛 金](資産)¥280,000 の「増 加」⇔ [売 上](収益)¥280,000 の「発 生」

(5) 事務用のコピー用紙¥3,000 を買い入れ、代金は現金で支払った。

〈解〉[消耗品費](費用) ¥3,000 の「発 生」⇔ [現金](資産) ¥3,000 の「減 少」

(6) 従業員に給料¥190,000 を現金で支払った。

〈解〉[給 料](費用)¥190,000 の「発 生」⇔ [現金](資産)¥190,000 の「減 少」

(7) 火災保険料¥100,000 を現金で支払った。

〈解〉[保 険 料](費用)¥100,000 の「発 生」⇔ [現金](資産)¥100,000 の「減 少」

【問題 6】

次の（ ）の中に、借方または貸方のどちらに記入するか示しなさい。

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| (1) 資本の増加は(貸 方)に記入する。 | (6) 資産の増加は(借 方)に記入する。 |
| (2) 費用の発生は(借 方)に記入する。 | (7) 資本の減少は(借 方)に記入する。 |
| (3) 資産の減少は(貸 方)に記入する。 | (8) 負債の増加は(貸 方)に記入する。 |
| (4) 負債の減少は(借 方)に記入する。 | (9) 収益の取消し(借 方)に記入する。 |
| (5) 収益の発生は(貸 方)に記入する。 | (10) 費用の取消し(貸 方)に記入する。 |

3 級 基本問題 4 (3 分法)

【問題 7】

次の取引の仕訳をしなさい。

- (1) 現金¥900,000 を元入れして営業を開始した。
- (2) 銀行から現金¥500,000 を借り入れた。(利息は考えなくてよい)
- (3) 商品¥300,000 を仕入れ、代金は現金で支払った。
- (4) 営業用のトラック 1 台(中古)を¥350,000 で買い入れ、代金は現金で支払った。
- (5) 事務用のボールペン・帳簿など¥3,000 を購入し、現金で支払った。
- (6) 商品¥190,000 を販売し、代金は現金で受け取った。
- (7) 商品¥200,000 を仕入れ、代金のうち¥50,000 を現金で支払い、残額は掛とした。
- (8) 商品を¥320,000 で販売し、代金のうち¥200,000 を現金で受取り、残額は掛とした。
- (9) 従業員の給料¥200,000 を現金で支払った。
- (10) 売掛け代金¥120,000 を現金で受取った。
- (11) 買掛け代金¥150,000 を現金で支払った。
- (12) 電話代¥20,000 を現金で支払った。

No.	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
(1)	現 金	900,000	資 本 金	900,000
(2)	現 金	500,000	借 入 金	500,000
(3)	仕 入	300,000	現 金	300,000
(4)	車 両 運 搬 具	350,000	現 金	350,000
(5)	消 耗 品 費	3,000	現 金	3,000
(6)	現 金	190,000	売 上	190,000
(7)	仕 入	200,000	現 金	50,000
			買 掛 金	150,000
(8)	現 金	200,000	売 上	320,000
	売 掛 金	120,000		
(9)	給 料	200,000	現 金	200,000
(10)	現 金	120,000	売 掛 金	120,000
(11)	買 掛 金	150,000	現 金	150,000
(12)	通 信 費	20,000	現 金	20,000

3級 基本問題 5 (3分法)

【問題 8】

【問題 7】の仕訳を下記の総勘定元帳の略式元帳(T字型)へ転記しなさい。

なお、転記は日付の代わりに取引の番号を、また相手科目と金額を記入すること。

総勘定元帳 (一部)

現 金 1		売 掛 金 2	
(1)資 本 金 900,000	(3)仕 入 300,000	(8)売 上 120,000	(10)現 金 120,000
(2)借 入 金 500,000	(4)車両運搬具 350,000		
(6)売 上 190,000	(5)消 耗 品 費 3,000		
(8) " 200,000	(7)仕 入 50,000		
(10)売 掛 金 120,000	(9)給 料 200,000		
	(11)買 掛 金 150,000		
	(12)通 信 費 20,000		
		車 両 運 搬 具 3	
		(4)現 金 350,000	
買 掛 金 4		借 入 金 5	
(11)現 金 150,000	(7)仕 入 150,000		(2)現 金 500,000
資 本 金 6		売 上 7	
	(1)現 金 900,000		(6)現 金 190,000
			(8)諸 口 320,000
仕 入 8		給 料 9	
(3)現 金 300,000		(9)現 金 200,000	
(7)諸 口 200,000			
通 信 費 10		消 耗 品 費 11	
(12)現 金 20,000		(5)現 金 3,000	

3級 基本問題 6 (3分法)

【問題9】

次の取引の仕訳をして、略式元帳(T字形)へ、転記しなさい。日付、相手勘定科目および金額を記入すること。

5/ 1 現金¥900,000 を元入れして営業を開始した。

4 商品¥300,000 を買い入れ、代金のうち¥100,000 は現金で支払い残額は掛とした。

16 営業用のパソコン¥360,000 を買い入れ代金は現金で支払った。

19 現金¥200,000 を貸付け、借用証書を受取った。

25 商品¥330,000 をA商店へ売渡し、代金のうち¥180,000 は現金で受取り残額は掛とした。

30 本日、従業員の給料¥60,000 と交通費¥5,000 を現金で支払った。

日期	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
5/ 1	現 金	900,000	資 本 金	900,000
4	仕 入	300,000	現 金	100,000
			買 掛 金	200,000
16	備 品	360,000	現 金	360,000
19	貸 付 金	200,000	現 金	200,000
25	現 金	180,000	売 上	330,000
	売 掛 金	150,000		
30	給 料	60,000	現 金	65,000
	旅 費 交 通 費	5,000		

現 金 1		売 掛 金 2	
5/ 1 資本金 900,000	5/ 4 仕 入 100,000	5/25 売 上 150,000	
25 売 上 180,000	16 備 品 360,000		
	19 貸付金 200,000	貸 付 金 3	
	30 諸 口 65,000	5/19 現 金 200,000	
備 品 4		買 掛 金 5	
5/16 現 金 360,000			5/ 4 仕 入 200,000
資 本 金 6		売 上 7	
	5/ 1 現 金 900,000		5/25 諸 口 330,000
仕 入 8		給 料 9	
5/ 4 諸 口 300,000		5/30 現 金 60,000	
旅費交通費 10			
5/30 現 金 5,000			

3 級 基本問題 7① (3 分法)

【問題 10】

次の取引を下記の仕訳帳に仕訳して、総勘定元帳(別紙)へ転記しなさい。

5/ 1 現金¥900,000 を元入れして営業を開始した。

4 大津商店から、商品¥300,000 を買い入れ、代金のうち¥100,000 は現金で支払い
残額は掛とした。

16 営業用のパソコン¥360,000 を買い入れ代金は現金で支払った。

19 現金¥200,000 を甲商店に貸付け、借用証書を受取った。

25 商品¥330,000 を中村商店へ売渡し、代金のうち¥180,000 は現金で受取り残額は
掛とした。

30 本日、従業員の給料¥60,000 と交通費¥5,000 を現金で支払った。

		仕 訳 帳			1
平 成 ○ 年		摘 要	元 帳	借 方	貸 方
5	1	(現 金)	1	900,000	
		(資 本 金)	6		900,000
		元入営業開始			
	4	(仕 入) 諸 口	8	300,000	
		(現 金)	1		100,000
		(買 掛 金)	5		200,000
		大津商店			
	16	(備 品)	4	360,000	
		(現 金)	1		360,000
		営業用パソコン購入			
	19	(貸 付 金)	3	200,000	
		(現 金)	1		200,000
		甲商店へ貸付、借用証書受取る			
	25	諸 口 (売 上)	7		330,000
		(現 金)	1	180,000	
		(売 掛 金)	2	150,000	
		中村商店			
	30	諸 口 (現 金)	1		65,000
		(給 料)	9	60,000	
		(旅 費 交 通 費)	10	5,000	
		従業員の給料と交通費支払い			

3 級 基本問題 7② (3 分法)

【問題 10A】

総勘定元帳 (標準式)

現金										1
平成 〇 年		摘 要	仕 丁	借 方	平成 〇 年		摘 要	仕 丁	貸 方	
5	1	資 本 金	1	900,000	5	4	仕 入	1	100,000	
	25	売 上	〃	180,000		16	備 品	〃	360,000	
						19	貸 付 金	〃	200,000	
						30	諸 口	〃	65,000	
売 掛 金										2
5	25	売 上	1	150,000						
貸 付 金										3
5	19	現 金	1	200,000						
備 品										4
5	16	現 金	1	360,000						
買 掛 金										5
					5	4	仕 入	1	200,000	
資 本 金										6
					5	1	現 金	1	900,000	
売 上										7
					5	25	諸 口	1	330,000	
仕 入										8
5	4	諸 口	1	300,000						
給 料										9
5	30	現 金	1	60,000						
旅費交通費										10
5	30	現 金	1	5,000						

3 級 基本問題 7③ (3 分法)

【問題 10B】

総勘定元帳 (残高式)

		現 金						1
平 成 ○ 年		摘 要	仕 丁	借 方	貸 方	借又 は貸	残 高	
5	1	資 本 金	1	900,000		借	900,000	
	4	仕 入	〃		100,000	〃	800,000	
	16	備 品	〃		360,000	〃	440,000	
	19	貸 付 金	〃		200,000	〃	240,000	
	25	売 上	〃	180,000		〃	420,000	
	30	諸 口	〃		65,000	〃	355,000	
		売 掛 金						2
5	25	売 上	1	150,000		借	150,000	
		貸 付 金						3
5	19	現 金	1	200,000		借	200,000	
		備 品						4
5	16	現 金	1	360,000		借	360,000	
		買 掛 金						5
5	4	仕 入	1		200,000	貸	200,000	
		資 本 金						6
5	1	現 金	1		900,000	貸	900,000	
		売 上						7
5	25	諸 口	1		330,000	貸	330,000	
		仕 入						8
5	4	諸 口	1	300,000		借	300,000	
		給 料						9
5	30	現 金	1	60,000		借	60,000	
		旅費交通費						10
5	30	現 金	1	5,000		借	5,000	

3 級 基本問題 8 (3 分法)

【問題 11】

井田商店の期末(平成〇年 12 月 31 日)の総勘定元帳(略式)の記録から、合計残高試算表を作成しなさい。

総勘定元帳

現 金 1		売 掛 金 2		備 品 3	
3,500,000	350,000	2,300,000	900,000	350,000	
1,000,000	1,500,000	800,000			
900,000	230,000				
	200,000				
	62,000	買 掛 金 4		借 入 金 5	
	8,000	1,500,000	1,600,000	200,000	1,000,000
資 本 金 6		売 上 7		仕 入 8	
	3,500,000		2,300,000	1,600,000	
			800,000		
給 料 9		支 払 地 代 10		支 払 利 息 11	
230,000		62,000		8,000	

合計残高試算表

平成〇年 12 月 31 日

借 方		元 丁	勘 定 科 目	貸 方	
残 高	合 計			合 計	残 高
3,050,000	5,400,000	1	現 金	2,350,000	
2,200,000	3,100,000	2	売 掛 金	900,000	
350,000	350,000	3	備 品		
	1,500,000	4	買 掛 金	1,600,000	100,000
	200,000	5	借 入 金	1,000,000	800,000
		6	資 本 金	3,500,000	3,500,000
		7	売 上	3,100,000	3,100,000
1,600,000	1,600,000	8	仕 入		
230,000	230,000	9	給 料		
62,000	62,000	10	支 払 地 代		
8,000	8,000	11	支 払 利 息		
7,500,000	12,450,000			12,450,000	7,500,000

3 級 基本問題 9 (3 分法)

【問題 12】

大津商店の期末(平成〇年 12 月 31 日)の下記勘定残高から残高試算表を作成しなさい。なお、資本金の残高は各自計算して記入しなさい。また、勘定科目がブランクになっているところは、資産、負債、純資産、収益、費用の順に記入するようにして下さい。

現 金	¥1,900,000	売 上	¥3,220,000	買 掛 金	¥1,420,000
給 料	800,000	売 掛 金	3,000,000	借 入 金	1,300,000
支 払 家 賃	120,000	広 告 宣 伝 費	175,000	貸 付 金	820,000
雑 費	5,000	仕 入	2,700,000	備 品	450,000
受取手数料	60,000	支 払 利 息	30,000	資 本 金	?

残高試算表

平成〇年 12 月 31 日

借 方	勘 定 科 目	貸 方
1,900,000	現 金	
3,000,000	売 掛 金	
820,000	貸 付 金	
450,000	備 品	
	買 掛 金	1,420,000
	借 入 金	1,300,000
	資 本 金	4,000,000
	売 上	3,220,000
	受 取 手 数 料	60,000
2,700,000	仕 入	
800,000	給 料	
175,000	広 告 宣 伝 費	
120,000	支 払 家 賃	
5,000	雑 費	
30,000	支 払 利 息	
10,000,000		10,000,000

3 級 基本問題 10-1 (3 分法)

【問題 13A】

丸山商店(個人)の勘定口座(略式)に基づき、各設問に答えなさい。ただし、会計期間は 1 年、決算日は平成〇年 12 月 31 日とする。

- (1) 商品の修正仕訳をしなさい。なお、期末商品棚卸高は¥550,000 である。
- (2) 決算(振替)仕訳を示し転記しなさい。
- (3) 元帳の各勘定口座を英米式で締切りなさい。(開始記入は省略すること)
- (4) 繰越試算表を作成しなさい。
- (5) 損益計算書と貸借対照表を作成しなさい。

現 金 1		当 座 預 金 2		売 掛 金 3	
4,700,000	3,100,000	1,500,000	400,000	8,500,000	5,770,000
繰 越 商 品 4		備 品 5		買 掛 金 6	
400,000		7,000,000		5,000,000	6,900,000
借 入 金 7		資 本 金 8		売 上 9	
100,000	900,000		8,000,000		11,750,000
受 取 手 数 料 10		仕 入 11		給 料 12	
	390,000	9,000,000		950,000	
通 信 費 13		支 払 家 賃 14		支 払 利 息 15	
30,000		20,000		10,000	

- (1) 決算修正仕訳(決算予備手続)……ここでは「商品の修正仕訳」のみ

仕 入	400,000	繰 越 商 品	400,000
繰 越 商 品	550,000	仕 入	550,000

- (2) 決算振替仕訳(決算本手続)

- ① 収益
勘定

売 上	11,750,000	損 益	12,140,000
受 取 手 数 料	390,000		

- ② 費用
勘定

損 益	9,860,000	仕 入	8,850,000
		給 料	950,000
		通 信 費	30,000
		支 払 家 賃	20,000
		支 払 利 息	10,000

- ③ 損益勘定の残高(当期の純損益)を資本金勘定へ振り替える。

損 益	2,280,000	資 本 金	2,280,000
-----	-----------	-------	-----------

3 級 基本問題 10-2 (3 分法)

【問題 13B】

現 金 1		当 座 預 金 2	
4,700,000	3,100,000	1,500,000	400,000
/	12/31 次期繰越 1,600,000	/	12/31 次期繰越 1,100,000
4,700,000	4,700,000	1,500,000	1,500,000
売 掛 金 3		繰 越 商 品 4	
8,500,000	5,770,000	1/1 前期繰越 400,000	12/31 仕 入 400,000
/	12/31 次期繰越 2,730,000	12/31 仕 入 550,000	" 次期繰越 550,000
8,500,000	8,500,000	950,000	950,000
備 品 5		買 掛 金 6	
7,000,000	12/31 次期繰越 7,000,000	5,000,000	6,900,000
		12/31 次期繰越 1,900,000	/
		6,900,000	6,900,000
借 入 金 7		資 本 金 8	
100,000	900,000	12/31 次期繰越 10,280,000	1/1 前期繰越 8,000,000
12/31 次期繰越 800,000	/	/	12/31 損 益 2,280,000
900,000	900,000	10,280,000	10,280,000
売 上 9		受 取 手 数 料 10	
12/31 損 益 11,750,000	11,750,000	12/31 損 益 390,000	390,000
仕 入 11		給 料 12	
9,000,000	12/31 繰越商品 550,000	950,000	12/31 損 益 950,000
12/31 繰越商品 400,000	" 損 益 8,850,000		
9,400,000	9,400,000		
通 信 費 13		損 益 16	
30,000	12/31 損 益 30,000	12/31 仕 入 8,850,000	12/31 売 上 11,750,000
		" 給 料 950,000	" 受取手数料 390,000
支 払 家 賃 14		" 通 信 費 30,000	/
20,000	12/31 損 益 20,000	" 支払家賃 20,000	
		" 支払利息 10,000	
支 払 利 息 15		" 資本金 2,280,000	/
10,000	12/31 損 益 10,000	12,140,000	12,140,000

3 級 基本問題 10-2 (3 分法)

【問題 13C】

(3) 繰越試算表の作成

繰越試算表

平成○年 12 月 31 日

借 方	元丁	勘 定 科 目	貸 方
1,600,000	1	現 金	
1,100,000	2	当 座 預 金	
2,730,000	3	売 掛 金	
550,000	4	繰 越 商 品	
7,000,000	5	備 品	
	6	買 掛 金	1,900,000
	7	借 入 金	800,000
	8	資 本 金	10,280,000
12,980,000			12,980,000

(4) 損益計算書の作成

損益計算書

(丸山商店) 平成○年 1 月 1 日から平成○年 12 月 31 日まで (単位: 円)

費 用	金 額	収 益	金 額
売 上 原 価	8,850,000	売 上 高	11,750,000
給 料	950,000	受 取 手 数 料	390,000
通 信 費	30,000		
支 払 家 賃	20,000		
支 払 利 息	10,000		
当 期 純 利 益	2,280,000		
	12,140,000		12,140,000

(5) 貸借対照表の作成

貸借対照表

(丸山商店) 平成○年 12 月 31 日 (単位: 円)

資 産	金 額	負債及び純資産	金 額
現 金	1,600,000	買 掛 金	1,900,000
当 座 預 金	1,100,000	借 入 金	800,000
売 掛 金	2,730,000	資 本 金	8,000,000
商 品	550,000	当 期 純 利 益	2,280,000
備 品	7,000,000		
	12,980,000		12,980,000

3 級 基本問題 11 (3 分法)

【問題 14】

下記の 8 桁精算表を作成しなさい。ただし、期末商品棚卸高は¥550,000 である。

精 算 表

勘 定 科 目	試 算 表		修 正 仕 訳		損益計算書		貸借対照表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	1,600,000						1,600,000	
当 座 預 金	1,100,000						1,100,000	
売 掛 金	2,730,000						2,730,000	
繰 越 商 品	400,000		550,000	400,000			550,000	
備 品	7,000,000						7,000,000	
買 掛 金		1,900,000						1,900,000
借 入 金		800,000						800,000
資 本 金		8,000,000						8,000,000
売 上		11,750,000				11,750,000		
受取手数料		390,000				390,000		
仕 入	9,000,000		400,000	550,000	8,850,000			
給 料	950,000				950,000			
通 信 費	30,000				30,000			
支 払 家 賃	20,000				20,000			
支 払 利 息	10,000				10,000			
	22,840,000	22,840,000						
当期純利益					2,280,000			
			950,000	950,000	12,980,000	12,980,000	12,140,000	12,140,000



学校法人田村学園

横浜経理専門学校

事業開発部

著編：立木 克久

電話：045-453-5500

<http://www.tamura.ac.jp>